ＧＰ通信

発　行
大垣女子短期大学
ＧＰ専門部会

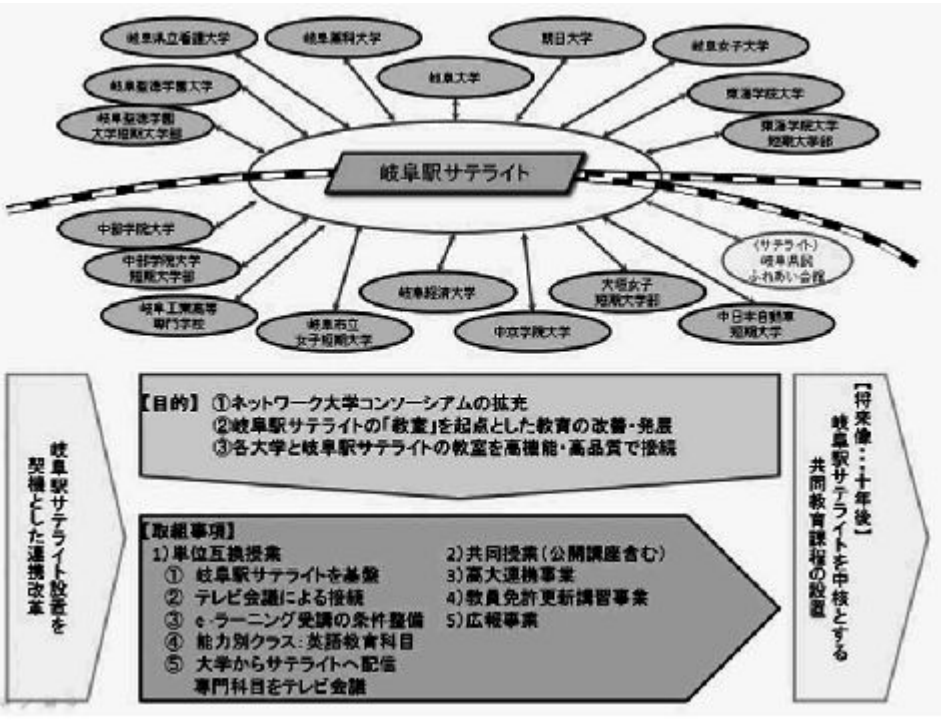
岐阜県内の大学＋短大で共同授業

岐阜大学を中心とした岐阜県内の教育機関によって構築されているネットワーク大学コンソーシアム岐阜は、平成二十一年度　文部科学省「大学教育充実のための戦略的大学連携支援プログラム」に選定されました。取組名称は、『ネットワーク大学コンソーシアム岐阜を基盤とした駅前サテライト型教育システムの構築』です。

岐阜県では、県内高校生の自県内高等教育機関への進学率が十七％程と低く推移していることから、学生の流出県であることに対する強い危機意識を抱いてきました。また、県内の大学の規模は岐阜大学をはじめ中・小規模の大学が多いことから、高等教育機関の機能強化の面から大学間の連携が求められてきました。この現状を背景としてこの取組内容は、これまでに蓄積してきたコンソーシアムの連携実績を基にして次の５つの事業を拡充していきます。【①単位互換授業　②共同授業（公開講座を含む）　③高大連携事業　④教員免許更新講習事業　⑤広報事業】　また、新たに利便性の高い岐阜駅サテライトを設置し、ここを基盤とする運営体制を整備して大学及び地域における教育活動の活性化を促進することを目的としています。この教育システムの取組によってコンソーシアムの教育体制が充実し、かつ岐阜駅周辺の地域活性化に貢献することでしょう。

参加大学

岐阜大学／岐阜県立看護大学／岐阜薬科大学／朝日大学／岐阜経済大学／岐阜女子大学／岐阜聖徳学園大学／中京学院大学／中部学院大学／東海学院大学／岐阜市立女子短期大学／大垣女子短期大学／岐阜聖徳学園大学短期大学部／中部学院大学短期大学部／東海学院大学短期大学部／中日本自動車短期大学／岐阜工業高等専門学校



現在、岐阜県のコンソーシアムを構成する高等教育機関は十七校であり、県内大学のほとんど（二十二大学中十七大学）がコンソーシアムに参加しています。

複数の大学が共通のカリキュラム（教養教育科目等）を構成してｅ―ラーニング等による授業を配信することにより、各大学の弱い部分を強化し、強い部分はより高く展開できます。このような取組は大学のみならず地域社会の生涯教育にも大きく貢献していきます。